

自己点検・自己評価 報告書

平成29年度

評価対象期間

平成29年4月1日～平成30年3月31日

学校法人 赤門学院

専門学校 赤門自動車整備大学校

平成29年度 自己評価表

(1) 教育理念・目標

項目名	適切・・・4	ほぼ適切・・・3
	やや不適切・・・2	不適切・・・1
学校理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)		3
学校における職業教育の特色は何か		3
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか		3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか		3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか		3

[1. 課題]

理念・目標・方針などは明確に定められており学生便覧に記載することによって学生への周知を行っている。自動車整備士としての職業訓練だけでなく社会人としてふさわしい人材の育成も掲げて取り組んでいるが、先生によって取り組みが異なる場合などのバラツキがある。学生の意識も個人によってムラがあり、卒業後は社会人になるという意識が低い学生もおり、目標として掲げている人材像へ到達できない場合がある。

[2. 今後の改善方策]

学校の方針は統一されているものの教職員間での取り組みで統一されていない箇所があると思われるため、定期的な話し合いにより意思統一を図り、更なる向上を目指す必要がある。学生は社会人経験がほとんど無いため自分の将来像を描けない場合がある。普段の生活や進路指導の時間を利用して社会人になるという意識の向上を図り、即戦力となりえる人材育成を目指す。コミュニケーション能力が低い学生に対して積極的に話す機会を増やしていき、社会に出てから戸惑う事のないような人材育成を行う。

[3. 特記事項]

平成28年度と平成29年度の自己点検・自己評価を比較し、評価点の増減があった項目の欄は、「2 ⇒ 3」のような表示にした。(以下のページも同様に対応)

平成29年度 自己評価表

(2) 学校運営

項目名	適切・・・4	ほぼ適切・・・3
	やや不適切・・・2	不適切・・・1
目的等に沿った運営方針が策定されているか		3
運営方針に沿った事業計画が策定されているか		3
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか		3
人事、給与に関する規程等は整備されているか		3
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか		3
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか		2⇒3
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか		3
情報システム化等による業務の効率化が図られているか		3

[1. 課題]

運営方針、事業計画に関しての認識は、意見を述べる機会も増え、徐々にではあるが高まってきているが、その決定プロセスに問題あり、との意見が多い。規程等により明確化はされているが、現場からの意見がまだまだ反映されていない、決定が一方的である、等の声が多数上がっている。さらなる現場優先、学生優先の運営を望む声が多い。

[2. 今後の改善方策]

誰のための、何のための計画、運営なのかを第一に考えれば、現場等の意見を単に述べるだけではなく、反映させることが必要となるはずである。そのためには、何をすべきか、規程等が絵に描いた餅にならぬ様、組織全体で考え実行する意識をもっと高めるべきであろう。

[3. 特記事項]

--

平成29年度 自己評価表

(3) 教育活動

項目名	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3⇒4	
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3	
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3⇒4	
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3	
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3	
授業評価の実施・評価体制はあるか	3	
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3	
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3	
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントがおこなわれているか	2	
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3	
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3	

[1. 課題]

- 1、様々な内容の評価公表に対して、具体的な改善に向けた議論が行われる事が少なく、改善に向けた具体案が少ないと思われる。
- 2、人材育成目標要件を備えた教員の確保が必要と考える。

[2. 今後の改善方策]

- 1、職員会議などで教職員の活発な意見を求め、状況を共有することが先決と考え、その後改善策を考える。
- 2、早急な教員の確保と、適正適格な業務内容を確認し、教員の育成を強化する必要があると考える。

[3. 特記事項]

職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているが、その説明を受けていてもきちんと話を聞いていない教員もいるので、改めていくべきである。

平成29年度 自己評価表

(4) 学習成果

項目名	適切・・・4	ほぼ適切・・・3
	やや不適切・・・2	不適切・・・1
就職率の向上が図られているか		3
資格取得率の向上が図られているか		3
退学率の低減が図られているか		3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか		3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか		2

[1. 課題]

就職に関しては担任や就職課による計画的な指導の成果と昨今の自動車整備士不足などもあり、学生が希望する企業に就職内定が得られている。資格取得率は国家試験対策を専門とする担当者が配置されており、合格率100%を目指した指導を常に行っている。退学率に関しては、自動車整備士という職業に対する学生の入学前印象と入学後心象にギャップがある場合があり、進路変更や学力不振による退学が一部ある。また、金銭的な理由により退学を余儀なくされる学生もいる。

卒業後の把握に関しては、就職課が企業と情報交換をする際に入社した学生の調査を行っているが一部の学生についてであり、データとしては少ない。

[2. 今後の改善方策]

就職に関しては概ね成果が出ていると思われるが、学生の第一希望で確実に合格できるように、更なる指導成果の向上を目指す。資格試験の合格率は、日々高度化していく自動車技術の進歩を踏まえ、常に最新の情報を把握しながら合格対策に取り組んでいく。退学者の減少対策については、金銭的な問題を抱えている学生に関しては奨学金などのサポート情報をより多く提案していく。進路変更による退学は、自動車整備士という仕事の魅力を伝える努力を行っていく。卒業生の把握に関しては、ある程度の調査は行っているものの広範囲には実施できていないため、学校側から企業側への訪問等を行って情報収集に努める。

[3. 特記事項]

--

平成29年度 自己評価表

(5) 学生支援

項目名	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3⇒4	
学生相談に関する体制は整備されているか	3	
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3	
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3	
学生の生活環境への支援は行われているか	3	
保護者と適切に連携しているか	3	
卒業生への支援体制はあるか	3	
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	2	

[1. 課題]

就職に対する学生の意識が少し足りない。相談窓口は設置されているが、担任が解決するケースが多い。経済面については、奨学金制度の活用を広く進めているが企業の奨学金はまだ少ない。課外活動については、学生のニーズと合致しないイベントも多い。生活環境については、寮生活の改善の必要がある。卒業生への支援については、特に力を入れていない。高等学校との連携が不十分である。

[2. 今後の改善方策]

就職に対しては担任と連携しメンタルな部分も含めて指導を継続する。担任にも相談できない学生については、学生の動向を観察し早期対応に努める。企業の奨学金については、まだまだ不十分なので企業への働き掛けを続行する。課外活動については、学生の希望に準じた内容にする必要がある。冷暖房等の学生寮の環境改善が必要。卒業生への追跡調査を取り入れ相談や悩みの解決にあたる。高等学校との連携については、相互協力の体制を築き上げる必要がある。

[3. 特記事項]

--

平成29年度 自己評価表

(6) 教育環境

項目名	適切・・・4	ほぼ適切・・・3
	やや不適切・・・2	不適切・・・1
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか		2⇒3
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか		3
防災に対する体制は整備されているか		3

[1. 課題]

自動車メーカーや販売店、大学等の協力で新型車や教材も増え、最新の技術に触れる機会も増えたが、古い実習場では、老朽化している設備や教材があり、現在の自動車整備に対応していない部分もある。また、診断機もパソコン同様に年々新しくなり、販売店と同等の診断機やソフトの更新が必要である。

[2. 今後の改善方策]

今後は現在の整備技術へ対応した設備や教材を計画的に導入し、より実践に近い実習を行える環境を作ると共に、現在も行われている自動車メーカーや販売店によるセミナーやインターンシップの協力を得て、継続した新技術の習得を行う必要がある。

[3. 特記事項]

防災訓練の実施を行い、避難経路や集合場所については徹底されているが、東日本大震災を教訓に、防災用品や備蓄を充実させる必要がある。

平成29年度 自己評価表

(7) 学生の受入れ募集

項目名	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
学生募集活動は、適正に行われているか		3
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか		3
学納金は妥当なものとなっているか		3

[1. 課題]

以前に比べ年間計画に基づき募集活動を行っているのが見て取れる。しかし学校見学会への参加者が少なく大幅な入学生増加にはつながっていない。29年度導入したA0入試は一定の成果があったが知名度という点ではまだ浸透していないように思われた。今後も高校訪問はもちろん校内ガイダンスに参加し高校生や先生と接する機会を設けていくべき。外国人留学生の比率が高くなってきているので日本人学生を増やす対策が必要である。特に1級科は2年連続2入学者数2名となっているので早急な対策を実施すべき。ラジコンカー大会や授業見学会など本校の学生を動員した見学会があるが、なかなか成果がでないので今後開催の有無を含めて検討すべき。

[2. 今後の改善方策]

通常の学校見学会に加え工夫を凝らしたイベント型学校見学会を実施し参加者増加を目指す。また女子や留学生といったターゲットを限定した見学会も開催する。28年度には3級科で「自己推薦制度」、29年度には1・2級科で「A0入試制度」を導入。これらは入学金の免除・減額といった特典があり成果があったので、授業料1年間免除などの更なる起爆剤を導入するのもひとつの手段である。SNSを利用した募集活動は28年度より利用頻度が格段にアップしたが、今後も更なる活用方法で中・高校生に赤門の知名度を上げていくべき。

[3. 特記事項]

--

平成29年度 自己評価表

(8) 財務

項目名	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2⇒3
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
財務について会計監査が適正に行われているか	3⇒4
財務情報公開の体制整備はできているか	3⇒4

[1. 課題]

学生数減少による財務面の不安等の認識は、個人差があまりにも有りすぎる様である。もっと現実を直視して、自分の組織が、本業以外の事業に支えられていることを自覚すべきであろう。そのため、HP上に公開されている財務情報等に全員が関心を持つべきである。とにかく、財務基盤安定のためにも学生数の確保が毎年の絶対的な課題である。

[2. 今後の改善方策]

過年度の実績に基づく予算計画ではなく、学生数の増加のための具体的、かつ長期的な予算計画を策定していくべきである。予算は、もらうものではなく、つくるものである。

[3. 特記事項]

教職員全員が、公開されている当法人の財務情報に関心を持ち、厳しい現実を自覚すべきであろう。

平成29年度 自己評価表

(9) 法令等の遵守

項目名	適切・・・4	ほぼ適切・・・3
	やや不適切・・・2	不適切・・・1
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか		3
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか		3
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか		3
自己評価結果を公開しているか		3⇒4

[1. 課題]

自己評価が実施され、トップ判断により問題点が改善されている部分もあるが、学内に仕組みがない為、継続した改善がされていない。また、パソコンのセキュリティーについては、外部との接点が多い部署では充実しているが、他は各個人で対策を行っている。

[2. 今後の改善方策]

改善策を講じる組織を作り、定期的に提案していく必要がある。また、ネットワークで外部と接続されている全てのパソコンについては、外部からのアタックによる情報流出を防ぐ対策が必要がある。

[3. 特記事項]

外部からの電話や問い合わせについては、電話を受けている職員が個人情報の取り扱いに注意した対応をしている。

平成29年度 自己評価表

(10) 社会貢献・地域貢献

項目名	適切・・・4	ほぼ適切・・・3
	やや不適切・・・2	不適切・・・1
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか		3
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか		2
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか		2

[1. 課題]

学校の施設を開放し文化祭等のイベントを開催しているが充分とは言えない。ボランティア活動を支援する体制は整っておらず、またアルバイトに励む学生が多いのでボランティアを希望する学生も少ない。公開講座や教育訓練については、中学校や高等学校、団体に対する受託は増えているがさほど多くはない。

[2. 今後の改善方策]

自動車に関する講習会等を多く開催し、地域や社会に貢献する機会を増す体制を整える必要がある。ボランティアに関しては、学生に対し意識の向上を働き掛けると同時に学校をしても理解を示す方向に進めたい。公開講座や教育訓練については、依頼が場合のみ対応しているので外部へ向けて宣伝して行きたい。

[3. 特記事項]

中学生に対する職場体験や高等学校へ出向き体験型ガイダンスを主に実施している。地域や団体に対しては積極的に宣伝する必要がある。